

丹波市
地域おこし
協力隊

農業を学び 新たな担い手となる
とき みつる
土岐満さん vol.15

経歴：市の非常勤一般職として、農業実習と事務の2つの仕事をする半農半公の地域おこし協力隊1期生。任期：平成28年11月～



地域おこし協力隊の活動を報告します

地域おこし協力隊として働きはじめてから1年。農業実習を経て、今後にんにく栽培を軸に農業を頑張ると決めました。みんなの温かい心遣いや助言、支援のおかげでここまでこれました。

昨年1月から、にんにく栽培支援をしている丹波王国（春日地域）で、栽培農家への情報提供や作業の手伝いなどをしてきました。昨秋からは、丹波王国が借りている圃場のにんにく栽培管理をすべて担っています。今年は、天候不良により植え付けがうまくいきませんでした。圃場の3分の2ほどしか植えつけることができませんでしたが、順調に芽を出し成長しています。植え付けから収穫・出荷まで、すべてを経験することで実際に独立

した時と似た形で実習をすることができ「これでやっているかも」という実感が得られます。

実習先をはじめ多くの人の支援で、充実した毎日が送れることに感謝して頑張ります。



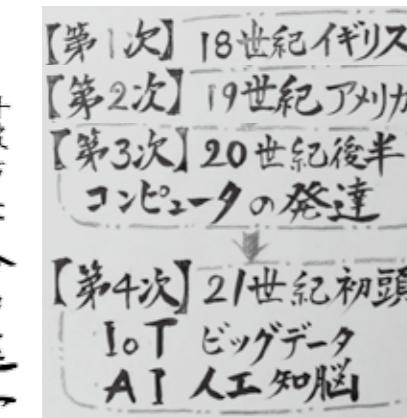
作業用のトラクターに乗る土岐隊員

報処理能力など、あらゆる面で今後、機械は肉体的能力や情れようとしています。たな技術を活用した事業が行われており、人手不足が解消されるとも言われています。市内でも、A-Iやドローンなどの新人トラクター」などが実用化されつつあります。市内は現在の仕事の半分がA-Iに置き替わるとの予測もあります。信じ難い話ですが、近未来で進んでいると認識できます。

最近よく耳にするのが第4次産業革命という言葉。その中心となる、A-I（人工知能）に関するニュースを聞いていると「第3次産業革命をはるかに超える画期的な技術革新！」が進んでいると認識できます。

市長コラム
丹波語り

第4次革命下
を生きる



丹波市長 谷口進一

基本は「機械にできることを機械に任せ、人間にしかできないことに注力する」。そのためには感情、創造性に加え、コミュニケーションを活用する分野の能力をこれまで以上に磨く必要があります。そのため、人間特有のもので、機械には決して持ちえないのですから。

平成30年度丹波市健康診査
受けてください、命を守る大切な健診

健康を脅かすがんや生活習慣病を早期に見つけるため、健康診査を行っています。命を守る大切な健診ですので、必ず受けてください。

個人で、胃・肺・大腸の3つのがん検診を受けると1万円以上かかりますが、丹波市がん検診は、半額以下で受診できます。

1月下旬に「平成30年度丹波市健康診査申込書」を送付します。受付期間は2月9日（金）までです。申込書が届いたら、すぐに健康課または各支所に提出してください。

◆3種（胃・肺・大腸）セットの場合

■医療機関健診
3,200円



■集団健診
1,300円



※丹波市国民健康保険加入者および75歳以上の人にはさらに助成します。（下表参照）

■健康課（氷上保健センター内）☎ 82-4567
㈹ 82-5402

■主ながん検診

検診内容	対象者および自己負担金	
	集団健診	医療機関健診
胃がん レントゲンで胃の病変を映し出す検査	35歳以上 700円 ※丹波市国保加入者と75歳以上の人には無料	40～74歳 【3種（胃・肺・大腸）セット】 丹波市国保加入者 1,600円 国保以外の保険加入者 3,200円
肺がん 胸のレントゲンで、肺の病変を診断する検査	20歳以上 100円 ※丹波市国保加入者と65歳以上の人には無料	20歳以上 【2種（肺・大腸）セット】 丹波市国保加入者 200円 国保以外の保険加入者 800円
大腸がん 自分で便をとり提出する検査	20歳以上 500円 ※丹波市国保加入者と75歳以上の人には無料	41歳以上の奇数年齢の女性 (平成31年3月末現在) 2,100円 ※75歳以上は無料
乳がん 乳房のレントゲン（マンモグラフィ）でしきりなどを発見	1. 問診 2. マンモグラフィ	子宮頸がん 検査時間は15分程度 1. 医師による診察（内診） 2. 細胞診
		21歳以上の奇数年齢の女性 (平成31年3月末現在) 1,700円 ※75歳以上は無料

※75歳以上の人の胃がん検診は医療機関での個別検診です。

※丹波市国保加入者で特定健診を申し込みされていない人には、申込確認の電話をかける場合があります。